

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
 II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
 III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
 IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
 V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【 京都府立鳥羽高等学校 】

1 実践テーマ	【 IV 】
2 実施対象者	1 現代短歌作歌：1年324名 2 古典和歌作歌：普通科理数人文RJコース 2年74名 3 公開フォーラム聴講：披講研究部・京都府高校生短歌コンクール最優秀賞等受賞者・その他の希望者（合計104名）
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（ 国語総合・古典 ） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（平成29年度オリンピック・パラリンピック教育推進事業公開フォーラム～オリンピック・パラリンピック讃歌～） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	1 スポーツによる感動を文化として表現する力を育成する 2 和歌・短歌を通じたオリンピック・パラリンピック・ムーブメントの波及に寄与する 3 オリンピック・パラリンピックを契機とした京都文化の発信について考える
5 取組内容	1 1年生による現代短歌の作歌、京都府高校生短歌コンクールへの応募 2 2年生2クラスによる古典和歌の作歌、冷泉貴実子先生による添削と優秀歌選定および歌集の発行 3 平成29年度オリンピック・パラリンピック教育推進事業公開フォーラム～オリンピック・パラリンピック讃歌～の聴講と古典和歌披講
6 主な成果	1 現代短歌においては、スポーツ活動を実施している現代や過去の情景を思い描くとともに、支えてくれる家族や友人にも思いを馳せ、表現することができた。また、京都府高校生短歌コンクールに応募した結果、最優秀賞・優秀賞・佳作（計3名）を受賞した。 2 古典和歌においては、「梅香」を兼題とし、日本人が共感しやすい春の訪れの歓びを歌に詠み、披講することにより、オリ

	ピック・パラリンピックを契機とした京都文化の発信について考えることができた。
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	オリンピックはスポーツの祭典であると同時に、文化の祭典でもある。これに関連して、スポーツを日本文化の一つである短歌に詠み込むことで文化の発信に繋がることを紹介した。
8 主な課題等	オリンピズムの根本原則である、スポーツと文化と教育の融合を、一部生徒ではなく全校生徒に向けて啓発することに難しさがある。
9 来年度以降の実施予定	和歌・短歌などを通じて京都文化の発信について考える。

